享栄だより

第３８号
令和元年
６月１０日
発行
享栄高等学校
入試広報室

平成三十一年度 入学式

五百九十名の新入生を迎えました。

４月５日（金曜日）に入学式が行われました。厳かな雰囲気の中にも、新入生の熱気が感じられる入学式となりました。

新入生誓いの言葉

新入生代表
山本　将也さん（神丘中学校出身）

「仲間を大切にし、諸先生方のご指導に従い、立派な享栄の生徒になります。」と力強く宣誓をしました。

入学おめでとう

新入生 オリエンテーション合宿

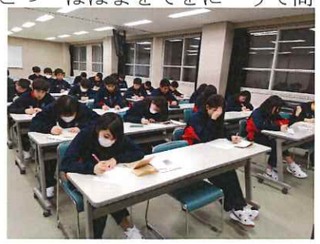
総合クラス
四月十一日～十三日
国立乗鞍青少年交流の家

野外合宿を終えて

布袋中学校出身　F　さん

この二泊三日の合宿で、時間を守ることや家族の大切さを改めて感じ、友達もたくさんできました。最初は、それぞれが時間をあまり意識せずに行動していましたが、二日目からは時間に余裕をもって行動できるようになりました。

親の手紙を読んでの感想を二日目の夜に書きました。いつもは言えないことも、涙が出まで強がって口では言えないことができました。三日間でまだ話をしたかり返事することのないクラスメイトとたくさん話ができて、今後の高校生活がより楽しみになりました。乗鞍で学んだ大切なことを忘れずに、今後も生活していきたいです。最初は正直行きたくないと思っていた合宿だったけど、行ってよかったと今は心からそう思います。



汐路中学校出身　M　さん

私はこの乗鞍野外合宿を通してたくさんのことを学びました。一つ目は、コミュニケーションの大切さです。普段は携帯電話があるため、声に出して会話をすることがあまりありませんでした。しかし、携帯電話がないことによって友達との会話を楽しむことができ、本当に人と人とのコミュニケーションは大切なことなんだと感じました。

二つ目は、仲間との助け合いです。ハイキングの帰り道疲れ果てた友達と声を掛け合って最終的には皆で無事に帰ってくることができました。

野外合宿で今までにない経験をたくさんしました。これをきっかけにクラスの仲間とこれから一年間ともに頑張っていけたらいいなと思います。

特進飛翔・躍進選抜コース
四月十日～十二日
旭高原少年自然の家

野外合宿を終えて

七宝北中学校出身　T　さん

野外合宿の出発前は、クラスメイトともほとんど話したことがなかったので、とても不安に思っていました。しかし、そんな心配は必要ありませんでした。クラスメイトは、いつも私に優しく声をかけ、明るく接してくれました。クラスメイトと一緒に生活をし、困ったときも声をかけあうことで、野外合宿はとても楽しい時間となりました。

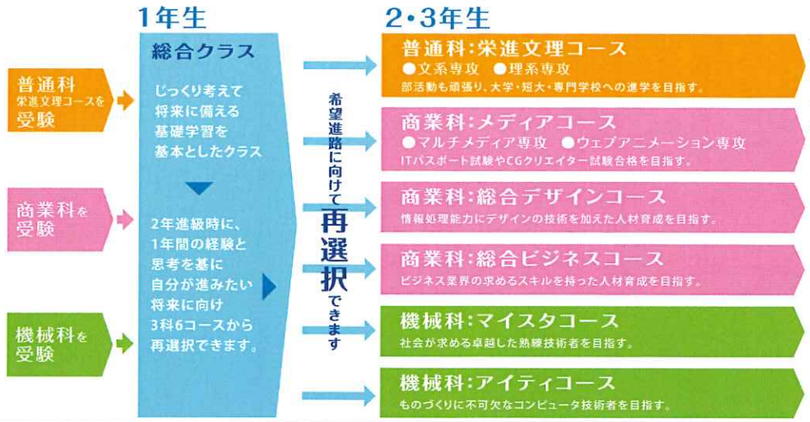
なかでも印象に残っている活動は、大学調べです。大学について調べていると、大学進学が目の前にあるかのように思えて、今のうちから進路を考えることが大切だと実感しました。

この合宿を通して、これから学習に取り組む心構えを知ることができました。今回学んだことを忘れず、三年間高校生活を楽しみつつ、進路実現に向けて頑張っていこうと思います。

享栄高校の総合制

本校では、普通科（栄進文理）・商業科・機械科のどの学科で入学しても、一年生では、国語・社会・数学・理科・英語の五教科を中心に同じ授業内容で学習し、基礎学力の定着と向上を図ります。

そして、二年生進級時に自分の「進路」や「将来の夢」を考え入学時の学科にとらわれず、学科（コース）を再選択することができます。



合格・就活体験記

愛知県立大学　外国語学部　英米学科　合格
早瀬徳輝さん（長良中学校出身）

高校に入学した当初の私の夢は、学校の先生になることでした。しかし、ただ漠然と「先生になりたい」というだけで、どの教科の先生になりたいか、全く決まっていませんでした。その後、二年生のときのオーストラリア海外研修で、現地の方や様々な国からの留学生と触れ合ったことで、英語に興味をもち、英語や海外の文化について学べる大学に進学し、英語の先生になりたいと考えるようになりました。

当時の模試の結果はE判定でしたが、私は人の何倍も勉強しなければいけないと思い、朝七時半から夜七時半まで学校で勉強するようになりました。先生と生徒の距離が近いというメリットを活用し、授業後に自分から質問したり、授業の補習をしてもらったりしました。そのなかで、次第に学力が上がっていきました。

センター試験が終わって最終的に受験校を決めるとしたとき、私はとても悩みました。愛知県立大学に進学したいと思いましたが、合格できるかどうか不安でした。サポートをしてくれた先生方のおかげで、自分の努力が実ったと思います。

（愛知県立大学の前にて）

私は背中を押してくださった先生方のように、生徒から信頼される先生になりたいと思います。

大分大学　教育学部　合格
森美陽さん（瑞穂ヶ丘中学校出身）

中学生のころから、漠然と学校の先生になりたいと思っていました。しかし、具体的な目標が決まらないまま三年生になってしまい、焦りだけが募っていきました。

自分にとって転機となったのは、大学の推薦入試を受けたことです。この推薦試は、志望理由書の作成や、小論文や面接が必要でした。それらの準備を進めるなかで、「なぜ先生になりたいのか」、「なぜ大学での学びが必要なのか」ということを徹底的に考えぬき、自分の目指す教師像を明らかにすることができました。この推薦入試の結果は不合格でしたが、この経験があったからこそ、「どうしても先生になりたい、諦めたくない」と一般入試に向けての決意を新たにし、筆記試験の勉強に集中することができました。

受験勉強を続けるなかで、弱気になってしまう時も多々あると思いますが、自分の夢や目標を思い出し、もう一度気持ちを切り替えて頑張ってください。

（大分大学の前にて）

日鉄電磁株式会社
（旧日鉄住金電磁株式会社）　合格
山田天音さん（東港中学校出身）

私は日鉄電磁株式会社から内定をいただき、今春から日鉄電磁株式会社で事務の仕事をさせていただいています。職場の環境を見て、この会社で働きたいと思いました。入社試験で働くことは、会社の情報や自分のアピールになるようなことをよく考えて望み、無事合格しました。

社会人として、高校三年間で得たものを活かし、会社の先輩や同期とのコミュニケーションを大事にして社会に貢献していきたいと思います。

JFEスチール株式会社
知多製造所　合格
久田浩貴さん（南陵中学校出身）

私は、今春からJFEスチールで勤務しています。

学校生活では資格取得に励みました。就職試験では、たくさんの先生や友達に面接練習をしてもらい、緊張に慣れ、伝えたいことを伝えられるようになり、当日の試験に臨み合格することができました。これからは社会人として一日でも早く仕事を覚え、会社に貢献していきたいと思います。

スノーボード　ジュニア
優勝！　世界選手権

木俣椋真さん（黄金中学校出身）

２０１９年４月、スウェーデンで行われた２０１９FISフリースタイル・スノーボードジュニア世界選手権に出場しました。一戦目の種目のスロープスタイルでは、難易度の高い技に挑戦し、転倒したので入賞もできませんでした。しかし、二戦目の種目のビッグエアでは、自分の力を出し切り、優勝することができました。

これも、日本代表コーチやトレーナーなどジャパンチームのサポートが全力でサポートしてくださったお蔭と感謝しています。

今後は、大会の成績とともに、たくさんの外国の選手とコミュニケーションをとったりインタビューに英語で答えたりできるように、高校での英語学習も頑張りたいと思います。